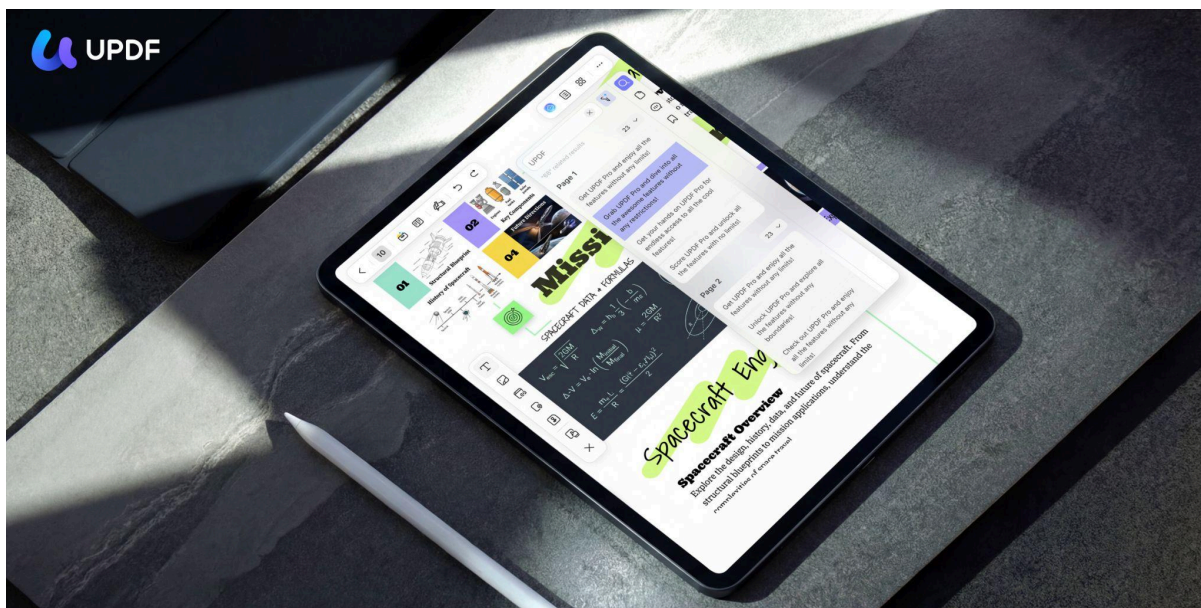


UPDF iOS 2.5.2をリリース、モバイルデバイスから企業内ファイルへの直接アクセスを実現

境界のないワークスタイル: iPhoneやiPadから社内ドライブ、NAS、リモートサーバー上のPDFを瞬時に閲覧可能に

Suprace Software Technologyが提供するデジタルドキュメントソリューションの革新的なリーダーであるUPDFは、本日、iOS版の最新アップデート「[UPDF iOS 2.5.2](#)」をリリースしたことを発表しました。今回のアップデートにより、企業内およびリモートファイルストレージシステムへの直接アクセスが可能になり、モバイル環境における生産性が大幅に向上します。



この最新版では、iPhoneやiPadから、社内の共有ドライブ、NAS(ネットワークHDD)、リモートサーバーに保存されているPDFを直接開き、編集することができます。ファイルのダウンロードやドキュメントの複製、複数のアプリを行き来する手間を省くことで、ワークフローの摩擦を大幅に軽減し、エンタープライズレベルのファイルアクセスをモバイル環境で実現します。

企業内ファイルシステムへのシームレスなアクセス

[UPDF iOS 2.5.2](#)は、モバイルデバイスを実際の企業の業務ワークフローにより深く統合するように設計されています。ユーザーは、以下を含む社内ストレージ環境やリモートファイルシステムに直接接続できるようになりました。

- 企業用共有ドライブ
- チーム用ファイルサーバーおよびリポジトリ
- NASストレージシステム
- リモートエンタープライズサーバー

接続後は、ディレクトリをリアルタイムでブラウズし、PDFを即座に開くことができるため、重要なドキュメントがどこに保存されていてもスムーズなアクセスが可能です。

これにより、ファイルをローカルにダウンロードしたり、サードパーティの転送ツールに頼ったりする必要がなくなり、ソースデータに対して直接操作を行うことができます。

現代のモバイルワークフローに最適化

今日の職場環境は、もはやデスクに縛られるものではありません。出張中、リモートワーク中、あるいは会議の移動中など、プロフェッショナルにはドキュメントへの即時アクセスが求められています。UPDF iOS 2.5.2は、以下の機能を通じて、進化するニーズをサポートします。

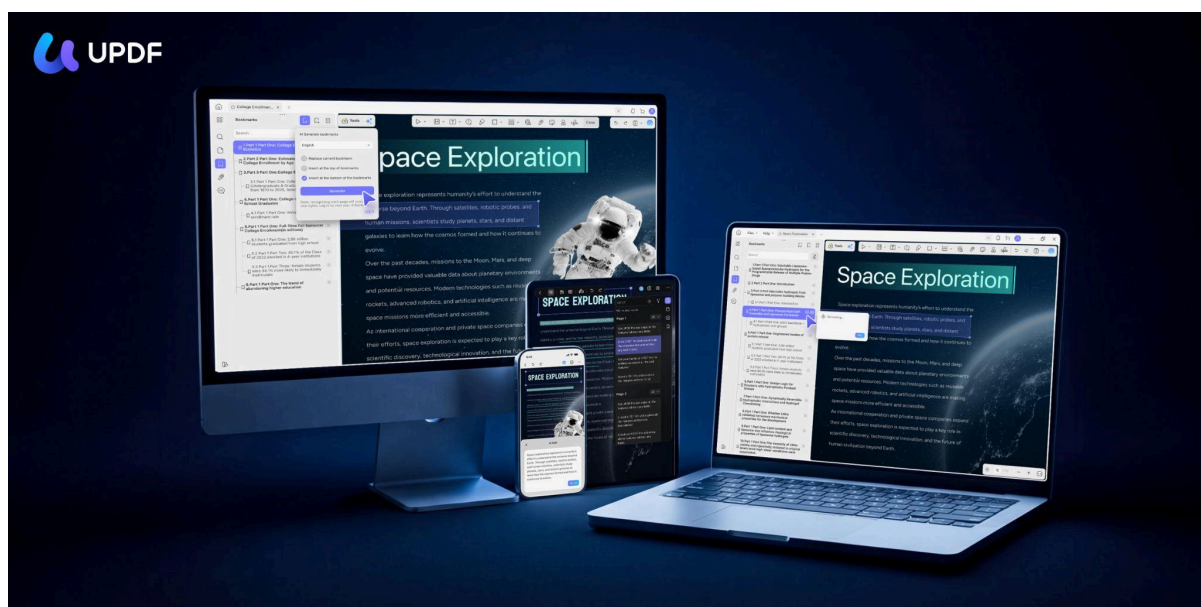
- モバイルデバイスでの即時ドキュメントレビュー
- 社内リソースへの直接的なアクセス
- リアルタイムなファイル利用による迅速な意思決定
- ファイルの転送やローカルストレージへの依存を低減

また、UPDFは既存のプライベートなファイルインフラに自然に適合するため、組織は機密ドキュメントのセキュリティを維持しながら、権限を持つユーザーに対して利便性の高いアクセスを提供できます。

エンタープライズユーザーのモバイル生産性を強化

今回のリリースにより、UPDFは単なるPDFエディターの枠を超え、現代のエンタープライズワークフローにおける包括的な生産性ソリューションへと進化しました。主なメリットは以下の通りです。

- デスクトップ級のファイルアクセスをモバイルに拡張
- 企業用ストレージ環境との互換性向上
- 安全でプライベートなドキュメントシステムへのサポート強化
- デバイスを跨いだ、より一貫性のあるシームレスな体験



UPDFは今後もデスクトップとモバイルの生産性の差を埋め、ユーザーが場所を選ばず高いパフォーマンスを発揮できるよう支援してまいります。

■ [UPDFについて](#)

UPDFは、Superace Software Technologyが開発したオールインワンPDFエディターです。文書の閲覧・編集・変換・注釈・OCRに加え、AI機能を統合し、世界中のユーザーの文書ワークフローをよりシンプルかつ効率的にすることを目的として設計されています。

Windows、Mac、iOS、Androidに対応し、マルチデバイス環境でもシームレスに利用可能です。
最新バージョンでは、自律型AIエージェントを搭載し、よりスマートで直感的な文書体験を提供します。

<公式サイト・各種SNS>

公式サイト：<https://updf.com/jp/>

YouTube：<https://www.youtube.com/@UPDFJapan>

X(旧Twitter)：https://x.com/updf_jp

Facebook：<https://www.facebook.com/UPDFJapan>

TikTok：https://www.tiktok.com/@updf_jp